

# 壹瀬小だより



## やさしさ ゆめ げんき

令和3年2月1日

No. 20

文責 福永 琢也

### ☆加法（プラス）で考える

年明けとともにコロナ禍の状況も急速に悪化しました。改めて考えるとこのコロナ禍も丸2年が経過しています。変わらず先行きが不安な面はありますが、状況を鑑みながら子どもたちを中心に教育活動を考えていきます。

一昨年度、昨年度と卒業式は、児童、保護者、教職員で行いました。今年度の卒業式について、現段階では詳細は未定ですが、過去2年の卒業式の形では実施ができています。今年度はできれば前例に加えて、限られた人数になるかもしれませんが在校生が参加できるようになど、できるだけ加えていくという方向性で考えていきたいと思っています。

これまでと同様、状況によっては急なお願い等をする場合もあるかと思いますが、保護者の皆様にはこれまで同様ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### ☆改めてのお願い

年を開けての急速なコロナ感染の拡大により、市内でも感染者の急増が伝えられています。学校でも以前にも増して消毒・健康観察等の対応を厳にしています。これに加えて保護者の皆様には、幾度となくお願いをしていますが、以下の事項について改めて確認をお願いします。

- 登校前の「検温」「健康観察」の徹底をお願いします。  
登校後すぐに「体調不良を訴え」保健室に来る子が増加しています。
- 登校時に玄関で検温表を確認しています。その際に検温表を忘れて、検温をしていない子がいます。保護者の確認の下、確実にお願いします。
- 政府の分科会の会見でも「不織布のマスクを鼻まで着用」ということが出ていました。以前もお願いしたマスクが合っているか等の確認を再度お願いします。
- 現在本人、同居する家族が「発熱等の症状」があれば登校を控えていただいています。その際に速やかに通院いただくとお子様の早期の症状改善に加え、お子様の登校時期など学校での確認材料ともなります。

### ☆備えの一つとして

タブレットについては、秋より家庭に持ち帰ることがありました。保護者の皆様にもご迷惑をお掛けいたしました。ご理解・ご協力に感謝しております。学校においてもどの学年でも触れることはもちろん学習でも活用しています。子どもたちも使用に関してかなり習熟してきています。

このことは、子どもたちのICTに関するスキルの向上とともに「備えの一つ」ともなります。仮に本校で学級閉鎖等が出た場合、リモートの授業を併用していくことを想定しています。そのために子どもたちが自分で学習に参加できるまでスキルを高めていきます。